
モルモルの説明

三須田直樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

モルモルの説明

【コード】

N8043Q

【作者名】

三須田直樹

【あらすじ】

モルモルという生き物に関する説明。

モルモルの子供がおっぱいを欲しがっています。

オスのモルモルの子供というのは、実は生後240カ月以上経っても、まだ乳離れができないのです。

しかし、今おっぱいをあげているのはこの子供のお母さんではありません。

これは、おっぱいを欲しがっている子どもとは無関係のメスです。

一体これはどういうことでしょうか。

実はモルモルは集団で子育てをする習性があるのです。

ですから、どの子どもでも分け隔てなく、おっぱいがもらえるのです。

でも、良く見てください。このモルモルは実は乳液を出していません。

実はモルモルの乳液の分泌は出産をして、

子供が生後120カ月を過ぎる頃にはほとんど止まってしまつたのです。

ここでメスのモルモルはオスのモルモルよりも先に大人になるので、

では、なぜオスのモルモルの子供はそれ以後もおっぱいを欲しがるのででしょうか。

実はオスのモルモルの子供というのは、生後120カ月を過ぎるとおっぱいを求める目的というのが変わってくるのです。

オスのモルモルの子供は生後120カ月を過ぎると、主に性的興奮を満たすためにおっぱいを求めるようになります。

しかしそれは、一人のオスとしてではなく、子育ての延長線上で子供と親という関係を残しつつ発生する行為なのです。

ですから、実の母親のおっぱいを吸って、性的興奮を得る場合もあります。

むしろ、そのケースが多い。
つまり、モルモルは二重の意味でおっぱいを活用していると言えます。
す。

そして、宇宙人の大学生は人間をベースに作り上げたモルモルの子
育てに関する説明を終えた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8043q/>

モルモルの説明

2011年10月6日22時54分発行